

# ものづくりは、ひびひびくり、夢づくり WIN・WINの提案型営業

株式会社M.T.C

代表取締役 森久次氏

株式会社M.T.Cは大和高田市で50年以上の歴史を持つ、金属加工会社です。社長の森久次さんは2018年に奈良県表彰卓越技能者にも選ばれた人物。柔軟な発想と確かな技術力で、金属プレス・板金加工業界に新たな風を吹き込みます。

## 独自の加工技術を駆使したWIN・WINの提案

ランダムピッチ送り加工法、ステージ交換式順送金型による加工法、特殊な技法を使ったカシメ加工法。これらは森久次社長が中心となって考案した、株式会社M.T.C独自の金属加工法です。「例えばプレス加工は、プレスの回数が費用に直結します。通常10回のプレスが必要な部品が、仮に5回のプレスで出来れば、利益は倍になるんです」と森社長。従来の工法にとらわれない柔軟な発想で製造工程を改善し、取引先と当社がともにメリットのある提案をする。それが、株式会社M.T.Cの特徴です。

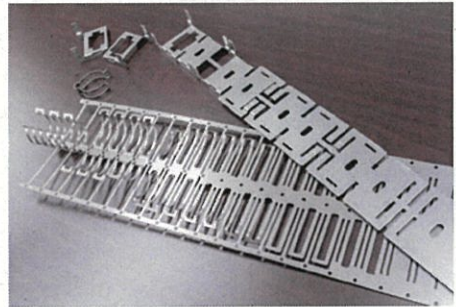
株式会社M.T.Cはもともと、森社長の父親・暁美さんが昭和43年に、森製作所の名で創業した会社です。当初はプレス加工でドア

ロックの部品を製造する、両親2人だけの小さな会社でしたが、2004年4月に有限会社M.T.Cと改名、2007年に株式会社になりました。

「2003年に父が他界し、私が代表となるにあたり、法人化しました。法人化は、これから会社を大きくするという、意思表示でもありました」と森社長。現在従業員は約40人。受注する商品も、大手住宅設備メーカーのユニットバス、トイレ、キッチン部品、鋼製家具メーカー陳列什器の部品など多岐にわたっています。

## 補助金を活用した設備投資あきらめないことが重要

株式会社M.T.Cでは3つの工場に順送プレス機8台、単発プレス機10台、プレスベンダー機5台を備え、プレス機の保有台数は県



右から左に進むにつれて、金属の板が加工され、徐々に部品へと形が整っていきます

内トップクラス。2019年にはタレットパンチプレス機も導入し、プレス加工と板金加工、両方の仕事を受注しています。これらの設備投資のために活用したのが、2012年から始まった国の「ものづくり補助金」。過去7年間で6回と、多くの採択を受けています。これほど採択を受けた秘訣を尋ねると「ひとつは、新しい設備を導入することで仕事がどのように変わるかを明確にすること。もうひとつは、簡単にあきらめないこと」との答え。一度目の申請で不採択となった場合も、申請書を見直し、再提出することで、同年度で採択を受けたこともあるそうです。「私は、最初の申請こそコンサルタントの協力を求めましたが、



新たな金属加工法を生み出すなど、製造工程だけでなく、後継者候補の森秀貴専務が持つIT知識を取り入れて、業務の改善を進めている森社長

それ以降は、奈良県地域産業振興センターの支援を受けほぼ自分で申請書を作成しています。確かに面倒ですが、書類を作成することで自分自身の中で目的がより明確化されまし、費用を気にすることなく、何度も申請することができま

また、簡単にあきらめないという精神は、日々の業務の中でも重要です。森社長は、仮に加工や納期に無理のある注文でも、それが本当に無理なのか、何か工夫することのできるのではないかと、徹底して考えることを心掛けています。「いろいろなと悩んでみると、いい案が出ることもありま

## 補助金も日々の業務も自身が知識を持ってこそ

現在の森社長の目標は、社内一

貫生産体制の構築です。すでにプレス加工中心から板金加工にも手を広げることで、試作品の開発から量産まで社内で行えるようになりました。今後は溶接などにも取り組む予定です。

金属加工業は、職人が多い業界です。現在金型の製作などは外部の職人に依頼していますが、熟練の職人は能力が高い反面、これまでの工法にこだわり、新たな提案への理解が得にくい場合もあります。そのような職人とうまく付き合うには、自身もしっかりとした知識を身に付け、相手に認められること。森社長は、「これも、補助金の申請と同じです。誰かに依頼するから、自分は知らなくてもいいでは通用しません。一定の知識を持つてこそ、話を聞いてもらえ

「関西ベンチャー企業」奈良県からの「経営革新計画」や「地域経済牽引事業計画」など、いくつもの認定を受けている株式会社M.T.C。現



株式会社M.T.C

独自の工法を駆使した提案で信頼を集める金属加工会社。国の「ものづくり補助金」を活用した最新設備を備え、柔軟な発想と確かな技術力で、さまざまなニーズに対応しています。

代表取締役/森久次  
本社/大和高田市大谷126-2  
TEL/0745-22-1410  
設立/2004年  
資本金/1,000万円  
従業員数/40名  
URL/https://mtc-nara.co.jp

在工場は3か所に分散していますが、IoTを活用した連携も進んでいます。「出会う人すべてが先生。出会う事すべてが勉強。新たな発想を取り入れなければ、次の展開はありません」と森社長。業界の常識にとらわれない同社の発展は、これからも続きます。



最新のタレットパンチプレス機を導入し独自の工法を追求しています